

光星 全力のプレーで 被災地に元気を

第30回東北高校野球大会が23日、甲子園球場で開催。秋の東北大会で優勝した光星院が活躍する。センバツへの出場は今年限り。同日、大会第3日、23日の第3試合で水城(茨城)と対戦する。東北日本大会後、光星院がある八戸市。大きな被害を受け、対戦相手の水城も被災の影響を受けた。光星院の川上重平投手は「甲子園で最高のプレーが、みんなを元気づけた」と喜びを語っている。

選抜高校野球特集

「打てないし勝てない。昨夏の風大会で仲井監督は補強した。強打で決勝に勝ったが、決勝は八丁一のエース中川に勝つ必要がなかった。秋の公式戦打率5割1分7厘の金山が目立つが、レギュラー陣のうち、8人が割4以上の打率を残した。仲井監督は「私がこれまで見てきたチームと比べ、ずば抜けていないが、逆に少ない」と打線のつながりに手応えをみせる。また12試合で得意の機動力も大きな武器だ。

打線ともに、投手陣も強力。秋田川上の両投手が、仲井監督は「冬に川上が成長した」と誇す。東北大会では、秋田が絶対的なエースだった。東北大会後、川上を一本立ちさせた。東北大会は投手陣の軸として起用、力を伸ばした。川上が成長したら、秋田もついで伸びてきたと仲井監督。二本柱の鋭い伸びと仲井監督の力もアップした。チームの守りも投手陣をええ、1試合平均の失策は0.4と堅守を誇る。

秋の東北大会で優勝し、センバツ出場が有力なことから、仲井監督は「野球人である前に高校生としての生活をしっかりしないとけない。人間として成長しないと技術の

打率4割超、投手陣も強力



センバツ出場が決まり、健闘を望む光星学院ナイン＝1月28日

進歩もない」とサインに言い続けた。サインは気を取り直して、冬に入り個々のレベルアップを図る練習に取り組みされた。さらに今月6日から甲子園まで、これまでのセンバツ出場時よりも多い練習試合を組み、チームを上げてきた。東日本大会が、その帰路の日だ。東日本大会が、その帰路の日だ。東日本大会が、その帰路の日だ。

メンバー

投手	秋田 教良	3
捕手	松本 憲信	3
一塁	金山 洸昂	3
二塁	榎本 慎	3
三塁	田村 龍弘	2
遊撃	北條 史也	2
左翼	和田 祥真	3
中野	川上 竜平	3
右翼	李 辰寿	3
補手	澤 基成	3
〃	一宮 健人	3
〃	荒屋敷 篤士	3
〃	宮下 幸雄	3
〃	岸本 竜之輔	3
〃	川崎 貴之	3
〃	江見 健人	3
〃	天久 翔斗	2
〃	前原 玄稀	3
部長	小坂 貴志	
監督	仲井 宗基	

※左から守備位置、名前、新学年、〇は主将

地元で心一つに応援



「この度の東日本大震災で、大変な難題に直面しました。心からお悔い申しあげます。マクドナルド・O.D.の協賛は、被災地支援に最大限の力を注ぎたいと考えています。また、大津波を乗り越え、さらには想像もできない原発事故に、心からお悔い申しあげます。この度は、東北に位置する本校においても、他人事でも受け止めております。この度は、テレビ放映で目にする映像は、ありにも悲惨な状況であり、言葉もなかな

ただ心筋の痛みであります。取つて高援をさせていただきます。この中で30回選抜高校野球大会が予定通り開催されることについては、本校の選手も責任者として出場している分、大変な思いで応援させていただきます。期せずして本校の硬式野球部は、甲子園出場を望む選手から甲子園への応援を、そのまますべてに受け止めています。しかし、北風の寒さの中で、春の甲子園出場を、このころに、熱場を手に入れた硬式野球部に、本校としては、大変な思いで応援させていただきます。このころに、熱場を手に入れた硬式野球部に、本校としては、大変な思いで応援させていただきます。

2000年夏にベスト4

光星学院は春夏を通じ、今回6回目の甲子園出場。夏の全国高校野球選手権大会でベスト4が活躍の場。99年の青い選手は、1回、ベスト4が活躍の場。99年の青い選手は、1回、ベスト4が活躍の場。99年の青い選手は、1回、ベスト4が活躍の場。

光星学院の甲子園戦績

97年春	1回戦	●3-5	岡山南(岡山)
97年春	1回戦	●9-10	佐賀南(佐賀)
98年春	2回戦	●2-3	豊田西(愛知)
00年夏	2回戦	○10-8	丹原(愛媛)
00年夏	3回戦	○4-3	九州学院(熊本)
00年夏	準々決勝	○2-1	樟南(鹿児島)
00年夏	準決勝	●5-7	智弁和歌山(和歌山)
01年夏	2回戦	○9-2	初芝橋本(和歌山)
01年夏	3回戦	○3-2	神崎(佐賀)
01年夏	準々決勝	●6-8	近江(滋賀)
03年夏	1回戦	○6-3	必由館(熊本)
03年夏	2回戦	○3-0	木更津総合(千葉)
03年夏	3回戦	○2-0	倉敷工(岡山)
03年夏	準々決勝	○1-2	東北(宮城)
06年春	1回戦	●4-6	関西(岡山)
09年春	1回戦	●1-2	今治西(愛媛)

生徒からの応援メッセージ

▽吉田 蒼吾(2年) 選手たちは朝練習も厳しい練習にも弱さ吐かず頑張り続けています。甲子園で持っている力を全部出してほしい。春1勝に向けて一生懸命、応援します。

▽佐々木七海(1年) チアリーダーのキキアランを務めています。三社大祭の囃子のリズムを取り入れた応援を練習してきました。選手には悔いの残らないプレーをしてほしいです。

▽山本まな(1年) いつも文化祭の学校の行事も盛り上げようと、硬式野球部はいつもなんでも頑張っています。今まで練習してきたことを出し切って、勝つてほしいと思います。

03年夏は、桑嶋 明戸のバッテリーを中心とした堅守と、森野、田原らの勝負強い打撃で勝ち上がった。3回戦の倉敷工戦では桑嶋が完封、準々決勝ではサリビッシュ(現日本FM)擁する東北に、惜しくも敗れた。また、同年の静岡国体では県勢初の優勝を果たした。一方、センバツでは前年出場の09年にサヨウで敗れるなど、あと一歩で勝利に向いていない。ナインは先輩たちが果たせなかった春1勝、さらに2年ぶりの県勢のセンバツ勝利を目指す。